

のうふく通信

2024 年秋冬号

2024 年 11 月

編集・発行：農福推進室

住所：藤沢市瀬郷 1 0 0 8 - 1

TEL:0466-48-1500

発行責任者：一杉好一

藤沢で育てたブドウでワインをつくりました！



3 年前から利用者さんと共に育ててきたブドウを使ったワインがついに誕生しました。酒税法に基づき、ライフ湘南で販売を開始しますが 7 4 本と希少品のため売り切れ御免です。あえてラベル無しのブラックフェイスで登場です。今年は真夏の高温、カメムシの大量発生でブドウの収穫量が予定の 1/3 となりましたが、自然酵母にこだわり自然の力だけで醸造したワインを造りました。今後は収穫量を増やし品質向上を目指し、ワイン特区によるワイナリー建設も目指す予定です。

タイミングよく、「藤沢ワイン祭り 2024」（11/23 藤沢駅北口サンパール広場）からのお声かけがあり、参加させていただきます。皆様のお越しをお待ちしております。



【収穫の様子】



【仕込み作業】



【瓶詰作業】



【収穫作業には大勢の方にご参加いただき、ありがとうございました】

かわうそ農園で【ユニバーサル農園】を開園中！



神奈川県からの委託事業「令和6年度都市型ユニバーサル農園推進事業（モデル構築）」を光友会が受託し実施しています。

ユニバーサル農園は、「仲間をつくり、植物と接して幸せになろう」を合言葉に、地域に暮らすさまざまな人たちが、同じ立場で植物を通した多彩な活動を展開し、一緒に楽しみ、豊かな地域社会を

創り出していくことを目的としています。

5月から準備を進め10月1日から開園しています。週2日（火、木）開園で今年度は、来年3月まで続け、次年度以降も継続して取り組んでまいります。自然の中で野菜、果物、その他の緑の栽培や育成、配植、交流などを通して、みんなで一緒に健康で幸せになりませんか。

※随時、参加者を募集していますのでお気軽にお問合せ下さい。



【作業指導】



【苗の定植】



【トンネル準備】



【みんなでやれば簡単ネット】



【野菜のお世話】



【収穫が始まりました】



【畑いっぱいの冬野菜】

恒例の稲刈りをしました！



毎年恒例のイベントとなっていますが、今回はユニバーサル農園の参加者さんにもお越しいただきました。神奈川県推奨米「はるみ」は大好評で、「天日干しはざかけ米」として手間をかけ、自然の力で育てたお米は昔ながらの美味しいお米に仕上がっています。今年は田んぼを増やし、約800kg（前年は500Kg）の収穫がありました。12月には自前の田畑で収穫したお米や野菜を使った料理をいただく収穫祭を行う予定です。



かわうそ農園のゆず！



かわうそ農園の入口に10年物のゆずの木が8本あります。今年もたくさんの実が育ちました。ゆず湯は冬至（12月21日）に欠かせませんが、1か月前から収穫できる状況です。サイズは小ぶりですが、種なしなので果汁が豊富なことが特徴です。

早速、ゆずジャムとゆず酒を作り、おまけにたくあん漬けの香り付けにも使いました。



ユニバーサル農園の作目表

ユニバーサル農園で育てている野菜の種類

- ・キャベツ（しずはま1号）
- ・キャベツ（YR春系305号）
- ・ブロッコリー（緑嶺）
- ・ブロッコリー（グリーンキャノン）
- ・ミニハクサイ（タイニーシュシュ）
- ・ジャガイモ（デジマ）
- ・ジャガイモ（ニシユタカ）
- ・ニンジン（向陽二号）
- ・金時ニンジン（本紅金時）
- ・リーフレタス（晩摘レッドファイヤー）
- ・ロメインレタス（テンディータ）
- ・ハクサイ（富風）
- ・ダイコン（三太郎）
- ・ミニ・カラーダイコン（紅三太）
- ・ミニ・カラーダイコン（アヤメっ娘）
- ・ミニ・カラーダイコン（長安青丸紅心）
- ・ビーツ（デトロイトダークレッド）
- ・コマツナ（春のセンバツ）
- ・ミズナ（京しぐれ）（紅法師）
- ・ホウレンソウ（ゴードン）
- ・シュンギク（中葉春菊）
- ・そらまめ（河内一寸そら豆）
- ・スナップエンドウ（つるあり）
- ・絹サヤエンドウ（つるあり）

編集後記 ユニバーサル農園にハマっています。なにせ農薬を使わない自然栽培なので、虫たちには天国、人間には地獄の日々ですが、なぜか楽しく自然を感じ、心は穏やかです。（Tachan）